

各位様

第 174 回日本経営倫理学会・理念哲学研究部会 2013 年 2 月例会案内

部会長・宇佐神

日時：2013 年 2 月 4 日（月） 17:00-19:00

場所：学士会館 308 号室

1. 3 月以降の例会日程：

① 3 月 4 日（月） 17:00-19:00 学士会館 308 号室

② 4 月 1 日（月） 17:00-19:00 学士会館 308 号室

③ 5 月 6 日（月・祝）

④ 6 月 3 日（月）

⑤ 7 月 1 日（月）に決定

2. 議事：

① 研究発表大会における研究発表者推薦の件：3 月例会で確定の予定

② 「経営倫理の今日的課題」について：今後の取り組みについて（西藤氏より経緯の説明）。

提言（理念哲学研究部会としての学会創設 20 周年に向けての提言「部会としての今後の研究取り組み等、部会員の皆様の夢と理想について」）を受け、2 月例会にて、日本経営倫理学会が、取り上げるべき、「経営倫理の今日的課題」について意見交換を行い、理念哲学部会としての提言の準備に入ることにしたい。「21 世紀の社会と経営の理念」への一環として、続く③と④を位置づけたい。③ 和辻哲郎『人間の学としての倫理学』（岩波文庫）を 20 世紀後半の「コミュニタリアニズム（共同体主義）」に繋がるものとして、その今日的意義を再確認したい。発表分担は以下の通り。

（1）第 1 章 1-5（済）：佐藤、（2）第 1 章 6-11（2 月）：新川、（3）第 2 章 12-16（3 月）：望月

④ 田坂氏の『Invisible Capitalism 目に見えない資本主義』の取り扱いについて。

3. 本日の研究発表：

新川：和辻哲郎『人間の学としての倫理学』第 1 章 6-11.

5 節までの総括

和辻は第一章 1 – 5 節で、日本語の「倫理」「人間」「世間」「存在」の意味を追求し、それらが共同態を志向していることを

確認した。和辻によれば、倫理とは「絶対的否定性（空）の否定の運動」で、空が否定される時、個が成立を見、個が自己を否定して全体に還帰するところに共同態が発展的に形成される。この共同態の根底にある理法を彼は倫理と捉えた。6 節以降で彼は西欧の倫理思想が、同じ方向で形成されたことを明らかにしたい。

4. その他

以上